



令和 6 年 9 月 2 日
第六管区海上保安本部

パネル展「見て！学んで！楽しむ！海図の世界」を開催

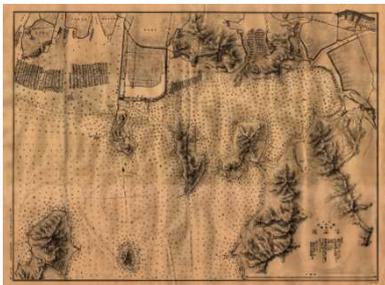
第六管区海上保安本部では、水路記念日にあわせ公益財団法人広島市文化財団と共催で、広島市南区にある広島市郷土資料館において海図を主な題材としたパネル展を行います。

9月12日の水路記念日※にあわせ、下記のとおり、広島港の新旧海図を主な題材として、広島港の歴史を辿るとともに海図を作る仕事や歴史を紹介し、普段あまり接する機会のない海図の世界をご案内します。

※：明治4年（西暦1871年）9月12日に兵部省海軍部に水路局（現在の海洋情報部）が設置されたことを記念してこの日を水路記念日としています。この水路局設置により我が国の本格的な海洋調査・海図作製が始まりました。

記

開催期間： 令和6年9月7日（土）～11月24日（日）
開館時間： 午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）
休館日： 毎週月曜日（9/16・23、10/14、11/4を除く）、9/17・24、10/15、11/5
開催場所： 広島市郷土資料館 1階展示ホール
（広島市南区宇品御幸2丁目6-20）
「企画展「ごんぎつね」が語る昔の暮らし」と同時開催
入館料： 大人100円、65歳以上・高校生50円、中学生以下無料
（入館料の詳細については、広島市郷土資料館のHPをご覧ください。）



広島で最初の海図
（明治28年頃の広島宇品）



現在の紙海図
（広島港東部宇品周辺）



現在の電子海図
（広島港東部宇品周辺）